

「見える」安全活動コンクール

題 材

重ダンプからの“連絡車等”の見える化

実 施 状 況

説 明



◆ 概 要

多くの重ダンプが走行する造成現場で、オペレーターから連絡車の位置が分かるよう、目印となる長尺の旗を取り付けました。

◆ 内 容

連絡車など普通車が場内を走行するときは、旗を立てるルールを決めました。

重ダンプの運転者にも見えるよう、長尺の赤い色にしました。

取付部分には吸盤を利用し、簡単に付け外しができるようにしました。

◆ 効 果

重ダンプの運転手からも視認できるため、死角になって激突される危険が減りました。また、目立つため連絡車両同士の接触事故防止にも役立っています。